

「ポータブル」 XMC10

Windows10 Anniversary Update が失敗する場合の対応手順について

■ Anniversary Update が失敗する原因

失敗する原因の多くは、内蔵 eMMC ドライブ (C: ドライブ) の空き容量が不足しアップデートができない (アップデートプログラムや更新ファイルを入れる空間が無い) 場合がほとんどです。

この様な C: ドライブの空き容量が絶対的に不足している状態だと、外部 USB メモリ等を用いて Anniversary Update を行なおうとしても、C: ドライブの容量不足のために失敗します。

このドキュメントでは、お客様が独自にインストールされたソフトや保存したデータファイルを一旦外部ストレージ (USB メモリなど) に退避していただき、C: ドライブを初期状態に戻し、Anniversary Update の適用を優先的に行う方法について、手順をご案内します。

■ USB 回復ドライブについて

本手順の実施前に、USB 回復ドライブを作成しておいてください (取扱説明書 XMC10 USER'S GUIDE 22 ページ)。USB 回復ドライブの作成には、USB メモリ (容量 32GB 推奨) が必要です。何らかの原因により本機のシステムファイルが破損した場合に USB 回復ドライブが準備されていないと、本機の再起動や Windows の再インストールを行う事ができません。ご注意ください。

■ アップデート実施の注意点など

- ・本手順に従った場合、独自にインストールされたソフトや作成保存したデータファイルなど全てが削除されますので、必要に応じて再インストールやバックアップからの書き戻し作業が必要になります。
- ・Windows の設定内容やユーザーアカウント情報 (パスワード等も含む) も全て削除されますので、必要に応じてメモなどに残しておいてください。
- ・アップデートの実行には時間がかかるため、AC アダプターを接続した状態で行ってください。
- ・Anniversary Update の適用には、インターネットへの安定した接続が必要です。
- ・アップデートの実行中は強制的に電源を落したり、リセット操作を決して行わないでください。システムファイルが破損し、再起動ができなくなる場合があります。画面が消えている状態でも内部は動作している場合があるので、アップデート処理が完了するまでお待ちください。また画面が消えた状態が長時間続く場合は、省電力機能が働いている場合があります。クリックボタンやキーボード操作をすると省電力機能が解除され、画面表示が行われます。

■ アップデート手順の概要

1. 独自にインストールしたソフトウェア等を削除 (アンインストール) する。
2. C: ドライブに保存したデータファイル等を、外部ストレージ (USB メモリなど) に移動する。
3. C: ドライブを初期状態に戻す (「回復」～「初期状態に戻す」)。
4. 初回起動時の初期設定を行い、ネットワーク接続設定 (インターネット接続) を行う。
5. 更新プログラムの案内が表示されるが、"今は実行しない" を選択する。
6. Windows が起動したら、スリープモードに入らない設定を行う。

7. "Windows10 アップグレードアシスタント"（更新アシスタント）を実行する。
8. Anniversary Update 適用後、必要に応じて Windows の設定やソフトの再インストールを行う。

■アップデートの詳細な手順（以下の手順に従い、アップデートを実施してください。）

1. ACアダプターを接続し、本機を起動する。
2. 独自にインストールしたソフトウェアを削除する。（アンインストールの方法については、お使いの各ソフトウェアの説明書をご確認ください。）
3. C: ドライブに保存してあるデータなどを、外部ストレージ（USBメモリなど）に移動する。
4. C: ドライブの初期化（「回復」～「初期状態に戻す」）を行う。
取扱説明書 XMC10 USER'S GUIDE の 20 ページ “■初期状態に戻す（すべて削除する）” を参照し、C: ドライブを初期状態に戻す。
※削除したファイルについては、保証することができません。十分にご注意ください。
5. 回復処理が完了すると Windows の初回起動時の初期設定がスタートするので、画面の指示に従って設定を行う。
”接続する” 画面では、使用するアクセスポイントへの Wi-Fi 接続設定を行い、インターネットへの接続環境を設定する。（Windows の更新処理は、インターネットへの接続が必要です。）
”お使いの PC には、適用可能な更新プログラムがあります” 画面では、画面左下の「今は実行しない」をクリックし、Windows の操作画面に移行します。
6. 以下の手順でクリックし、スリープ状態には入らない設定を行う。
「スタートメニュー」→「設定」→「システム」→「電源とスリープ」→“画面”と“スリープ”的”電源に接続時”的各設定値を「なし」に設定し、ウインドウを閉じる。
7. Windows10 更新アシスタントの実行を行う。
デスクトップ上の”Windows10 アップグレードアシスタント”アイコンをダブルクリックし、更新アシスタントを起動する。（”このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか？” ウィンドウが表示された場合は、「はい (Y)」をクリックして進める。）
「今すぐ更新」をクリックすると互換性チェックの後、“更新プログラムを準備しています” 画面が表示され、ダウンロードと更新プログラムの準備がスタートする。（完了した割合が%で表示される）
更新プログラム準備の完了後、「今すぐ再起動」をクリックすると、“サインアウトしようとしています” と表示されるので、「閉じる (C)」をクリックする。
自動的に再起動すると、更新プログラムの構成処理が進行する。（進行状況が%で表示される）
以降、処理の進行により数回再起動されるが、画面の表示に従って操作する。
アップデート処理が完了すると、通常の Windows デスクトップ画面が表示される。
「設定」→「システム」→「バージョン情報」（左側メニューの一番下）で表示される“バージョン” が “1607” になっていれば、Anniversary Update の適用完了です。
8. アップデート処理の完了後、PC の環境を元に戻す。
初期化された Windows の設定やスリープの設定などを、再設定する。
削除したソフトを再インストールし、外部ストレージに保存しておいたユーザーファイルを戻す。
(C: ドライブの空き容量に、ご注意ください。)

「ディスクのクリーンアップ」から以前の Windows のインストールなどの不要なファイルを削除すれば、C: ドライブの空き容量を確保できます。但し削除するファイルについては、内容を確認して十分にご注意ください。

※削除したファイルについては、保証することができません。また、Windows の動作に必要なファイルを削除してしまうと、不具合が生じる場合があります。

■上記の手順 7 で” Windows10 アップグレードアシスタント” アイコンが見つからない場合

インターネットへの接続に問題が無いか、確認してください。

更新アシスタントは、マイクロソフトのサイトから入手できます。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10/>

※アップグレードを行う本機上で、” Microsoft Edge” を使用。

■正常に操作ができない場合など

本手順書に記載している内容が Windows の動作が不安定などの状態で正常に行えない場合は、システムファイルが破損しているなどの不具合が考えられます。予め作成しておいた U S B 回復ドライブ（システムリカバリー・メディア）から Windows のリカバリー処理（取扱説明書 XMC10 USER'S GUIDE 25 ページ U S B 回復ドライブの使い方）を実行した後、本手順をお試しください。

※ご注意

将来の Microsoft の仕様変更等により、本手順書の内容が実施できない場合があります。

アップデート実施についての詳しい情報や Windows10 更新アシスタントについては、Microsoft の情報サイトなどをご確認ください。

また U S B 回復ドライブ（システムリカバリー・メディア）は、Windows の動作などに不具合が発生した場合に必要となる大変重要なものです。取扱説明書に従い必ず作成し、お手元に保管してください。